

**特集 :おらほの農地集積 1]**

**「担い手を核とした集落営農」** ~生産規模の拡大、所得の向上を目指して~

とみやなんぶ  
**富谷南部地区**

**1.地区の概要**

事業名 : ほ場整備事業(担い手育成型)	担い手農家戸数 : 1組織
関係市町村 : 富谷町	担い手経営面積
関係土地改良区 : 富谷北部土地改良区	(実施前) : 7.3ha
工期 : H6~H12	(H13実績) : 15.2ha
受益面積 : 43.2ha	農地集積増加率 : 77.5%
総事業費 : 795百万円	農地集積率 : 35.2%



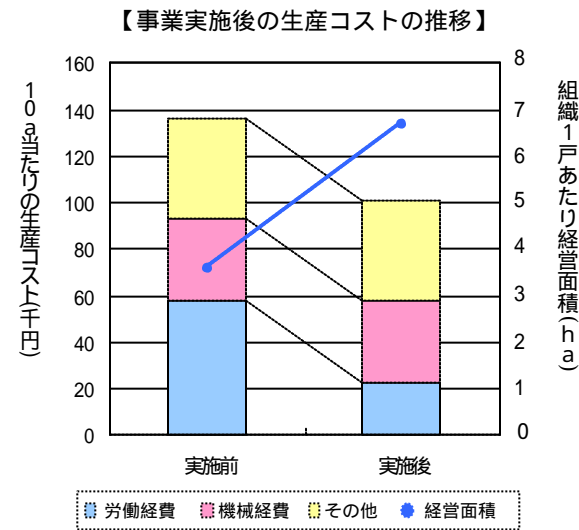
**2.農業経営の効率化を目指して**

仙台市に程近い富谷町に位置する富谷南部地区では、平成6年に県営ほ場整備事業(担い手育成型)が着工となり、平成12年までに全地区面積43.2haの面工事を完了。この間ハード事業と平行して実施された担い手ソフト事業の実施を契機に、地元集落では担い手への農地集積による農作業の効率化、省力化を目指す意識が高まりを見せ始め、生産組織の設立を念頭に入れた座談会が各集落において開催されました。座談会では、様々な面から地域の実情と今後の有り方について議論が重ねられ、各集落の合意形成が図られた平成8年12月、全戸加入により地区内の土地利用調整を目指した「富谷南部地区農用地利用改善組合」が設立されました。

さらに平成9年9月地元からの要望に答える形で、地域農業経営確立支援事業によりミニライスセンター(40ha)を建設。センターの稼働は秋作業の大幅な効率化を実現し、右図グラフの通り生産コストの削減、経営面積の拡大に大きく貢献しております。

このようにハード、ソフト両面の整備が整ったところで、ミニライスセンターを組織作業の核とした、担い手4戸による生産組織「富谷南部生産組合」が設立され、地区内の農業経営安定化を図る基盤が確立されました。

今後は農用地利用改善組合と生産組織の連携による、機械の効率的活用、作業委託希望農家の掘り起こしと担い手との結びつけ、麦・大豆等の集団転作などに取り組みながら更なる組織体制の基盤強化を目指しています。



【ライスセンター事務所にて】



【富谷南部農地集積ミニ研修会】



【富谷南部農地集積説明会】

**3.ファームサービスクラブの支援活動**

富谷南部生産組合では、組織の生産活動拠点としているミニライスセンターと隣接した場所に共同パイプハウス(554m<sup>2</sup>)を設置し、主にはハウレンソウを、平成13年度からはJAの委託を受け育苗を開始、平成14年度には2,650枚を受託しております。

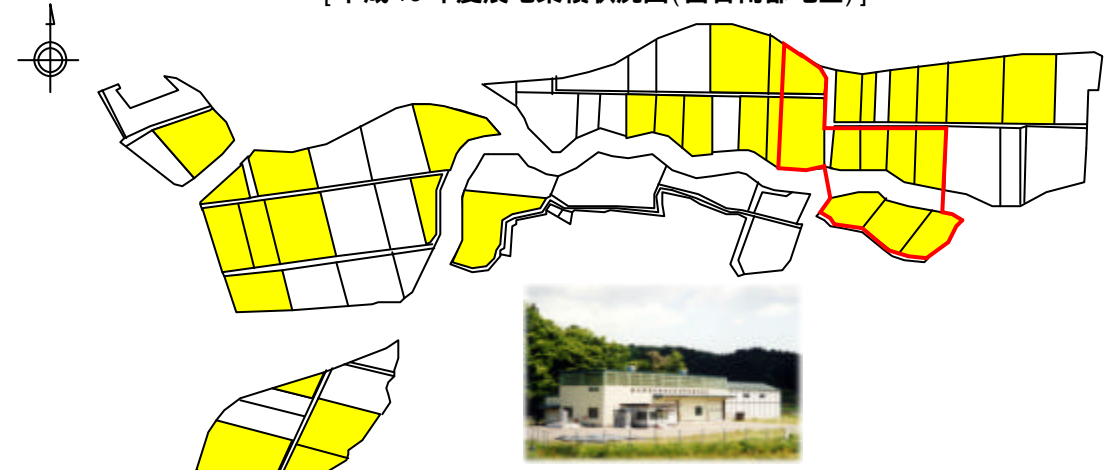
組織を設立して以来、作業の受託量は年々増加し、活動範囲も広がりを見せておりますが、この生産活動の場において組織の構成員のみでは作業量に限界があるため、補助的作業を手伝うことを目的として組織された「ファームサービスクラブ」の存在が大きな役割を果たしております。

ファームサービスクラブは平成10年に設立され、農業経営を委譲した方や、婦人層を中心に構成された会員制の組織で、現在20名程度が加入し、各作業の量に合わせ必要とされる人材を派遣しております。各集落で好評を得ている

当クラブの活動範囲は地区内にとどまらず、隣接する地区にも広がりを見せるほど積極的な活動を展開しております。

またクラブはライスセンターの一角に事務所を構え、作業が終わるとそこで苦労話をしたり、年配の方々からアドバイスを頂いたりして、本当の意味での意見交換の場となっております。このような生産組織とファームサービスクラブの連携による地域のコミュニティーづくりは、地域農業の安定化、集落の活性化の第一歩であり、今後も活力ある地域作りを目指した活動の一環として大いに機能していくものと期待します。

[平成13年度農地集積状況図(富谷南部地区)]



【ミニライスセンター】

凡 例	
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	担い手経営等農用地
<span style="border: 2px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	2ha以上の連担団地

- 問い合わせ先 -  
〒981-3303 黒川郡富谷町太子堂 1-17-22  
富谷北部土地改良区  
TEL:022-358-4279 FAX:022-358-4279

**担い手への農地集積を進めるために** ~担い手利用集積率の実績を踏まえて~

仙台産業振興事務所管内の県営ほ場整備事業(担い手育成型)実施地区は9地区で、全て完了した地区から工事を開始したばかりの地区まで様々あります。これまで実施してきた地区の事例から判断される集積率アップのキーポイントはリーダーシップを持つ地域のまとめ役の存在。地区内全戸加入の農用地利用改善団体が存在し、自主的な活動を展開している。地区内での話し合いを原点に据えた合意形成を基本としている。機械の共同利用によるコスト低減意識が高く、生産組織が設立されており、自主的活動を展開している。出し手が安心して経営・農作業を任せられる地域の体制、雰囲気作りが出来ている。転作奨励金・連担化加算金などの負担軽減策の最大追求を行っている。

クリアした課題、これからクリアすべき課題が明確化されている。市町村・JA・土地改良区・農業委員会・普及センター等との有機的な連携がある。以上のキーポイントに対し地域一丸となって取り組むことで、ほ場整備による効果の最大限の発揮が可能であると考えられます。

1.各地区実施状況

地区名	受益面積 (ha)	着工	完了	計画		集積率(%)		増加率(%)	
				個別	組織	H13	目標	H13	目標
西川	93.2	6	15	4	1	44.4	60.8	60.3	108.5
富谷南部	43.2	6	12		1	35.2	60.6	77.5	185.3
大松沢	204.0	7	15	6	3	66.6	61.5	109.7	96.8
塩手	44.7	8	13	1	1	53.5	60.2	215.7	251.8
達隈東部	281.1	8	16	26	2	34.2	62.0	29.9	78.2
古浦	26.8	8	14		1	50.7	65.3	97.6	145.1
寺島	98.5	9	16	3	3	25.6	61.3	29.9	146.8
松島東部	147.6	10	15	6	1	22.1	58.0	31.5	198.7
小川	166.2	13	17	10	3	24.4	59.6	0.9	58.9